

## 平成27年度ひろしまの森づくり事業

### 1 ねらい

県土の保全や水源かん養などの森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、「ひろしまの森づくり県民税」を財源に、県民共有の財産である森林を県民全体で守り育てる事業を推進する。

### 2 事業内容及び予算額

(単位：千円)






区 分		事 業 内 容	事業主体	予算額
補助金事業	人工林対策	・手入れが十分されず放置され、緊急に整備を必要とする人工林の間伐等の実施 【ひろしま林業ビジネスモデル実践プロジェクト】 ・住宅分野での県産材の利用拡大の推進 ・公共建築物等の木材利用の推進	市町等 民間企業等	458,500
	里山林対策	・森林病虫害被害に対する防除対策の実施	市町	
	里山林対策等	・手入れが不十分な里山林について、土砂災害防止、生物多様性の保全、鳥獣被害防止等を目的とした整備 ・住民団体やNPO等の自らの企画・立案・取組への支援 ・森林・林業体験活動の支援 ・県産材木製品の利用推進 等	市町等	
交付金事業	特認事業	・住民団体等による自主的・継続的な森林保全活動への支援 ・市町域を越えた広域交流による里山林整備 等	市町等	110,000
県実施事業	県民意識の醸成	・各種メディアを通じた広報 ・県民活動の活発化等による意識啓発 等	県	20,416
合 計				848,916

※ 予算額合計は基金積立を除く実質事業費。ひろしま林業ビジネスモデル実践プロジェクト実施分含む。

### 3 成果目標

手入れ不足のすぎ、ヒノキの人工林の間伐面積（累計）	: H23	1,150ha	→	H27	5,268ha
地域資源保全活用事業の実施箇所数（累計）	: H24	5箇所	→	H27	25箇所
森林ボランティア活動の延べ人数	: H23	58,580人	→	H27	70,000人
県産材（すぎ・ヒノキ）素材生産量	: H25	217千m <sup>3</sup>	→	H27	300千m <sup>3</sup>
木材安定供給協定による取引量	: H25	59千m <sup>3</sup>	→	H27	80千m <sup>3</sup>

### 4 取組状況

実施事例（H25～H26）					
補助金事業	◆手入れ不足の人工林の間伐 (H25 三次市)		補助金事業	◆松くい虫の防除・まん延防止 (H26 尾道市) 〔伐倒剔除による被害の拡大防止〕	
交付金事業	◆手入れが不十分な里山林の整備 (H26 北広島町)		交付金事業	◆小学生を対象とした森林・林業体験活動 (H26 庄原市)	
交付金事業	◆住民団体等が主体となった里山の保全活動 (H26 廿日市市・特認事業) 〔地域住民・漁業関係者等による「漁民の森づくり」〕		県実施事業	◆バス停でのポスター掲示による事業広報 (H26 広島市)	